

改正基本法、基本計画における 政策の実現に向けて

全国農委会長大会

5月28日に東京都内・渋谷公会堂で全国農業委員会会長大会が開かれた。大阪から農業会議役員・各市町村農業委員会会長など86人が参加した。

議事では、「改正基本法、基本計画における政策の実現に向けた提案決議」、「地域計画の実現により、持続可能な農業・農村を創る全国運動」を推進する

ための申し合わせ決議など4議案が上程され、いずれも満場一致で採択された。

農委活動の実践を踏まえた決意表明において、新潟県阿賀野市農委の見尾田正行会長が、「地域計画・目標地図」のブラッシュアップに向けた取り組みについて、広島県庄原市農委の道下和子会長（全国農業委員

会女性協議会会長）が同協議会の活動を通じた女性委員の登用率の向上に向けた取り組みについて、それぞれ報告した。

大会での議決を踏まえ、各農委会長らは大阪選出国会議員に対し、要請活動を実施。

重点事項として、①新たな基本計画のもとでの農業の構造転換を集中的に推し進めるための別枠予算の確保、②地域計画の実行体制の構築と農委系統組織の役割等の明確化、③認定農業者等担い手に対する施策の再構築等、④農委系統組織の予算確

保と体制整備のための予算措置などをそれぞれ求めた。

都市農業の振興については、都市農業振興基本法に基づく地域計画の策定と推進、都市農地貸借円滑化法の啓発と貸借の促進、農業体験農園の普及・拡大の積極的な実施を要請した。

また、要請先の国会議員との意見交換では、雇用就農資金の年齢要件について、現行の49歳以下から定年帰農者等の実情を踏まえて、大幅に引き上げるべきとの要請を行った。（中島）

農委会長らが児童に農業体験

箕面市農経連

答し、児童は熱心に聴き入っていた。

稲垣会長は、「この農業体験を重要と考える農家が多く、今年も14人の農家に協力をいただいた」と振り返り、「児童が体験を通じて水田や農業の大切さを理解してくれたら、という想いで取り組んでいる。これからも続けていきたい」と話す。

（沼田）



稲垣会長をはじめ農家や関係者らが児童に田植えを指導

箕面市の農業者で構成される箕面市農業経営者連絡協議会は20年以上前から、市農委、JA、などと連携して、小学生を対象とした「農業体験」の取り組みを行っている。

6月16日には、稲垣恵一農業委員会会長や東山磯治同元会長など4名の農家の水田で、同市内の小学5年生138人に田植えの指導を行った。これまで水田に入ったことなく、恐る恐る足を踏み入れる児童もいたが、しばらくすると楽しそうに取り組み姿が見られ、10月中旬の収穫体験を心待ちにする児童の声も聴かれた。

田植え後は、農業をする上で大変なことや、箕面で作られたお米はどこで買えるのか、など児童から寄せられた多くの質問に稲垣会長が一つずつ丁寧に回

「農」に親しむ

ライフスタイル府民会議
令和7年度総会を開催

「農」に親しむライフスタイル推進府民会議（難波りんご会長）は6月5日、大阪市・阿倍野市民学習センターで令和7年度総会を開き、会員関係者など約30人（表決委任者含む）が参加した。

総会では、令和6年度事業報告・決算、7年度事業計画・予算など5議案が上程され、いずれも原案通り承認された。

活動の柱でもある「生産者と消費者の交流活動」については、今年度は3回計画。①枝豆収穫体験（7月、八尾市）、②健康料理の学習と漁港見学の学習（10月、大阪市）を予定している。

総会終了後、参加した会員による情報交換が行われた。難波会長からは昨今、関心が寄せられている米について、大阪府内の生産量などのデータや、日本の伝統食を評価したドイツ人医師のエピソードなどを紹介した。

（中島）